

## 長野市の歴史文化の特徴と関連文化財群（案）

## 歴史文化の特徴 1 豊かな自然とともに生きる

## （要旨）

- ・日本で最も標高の高い県庁所在地だが、約 200 万年前までは海底だった
- ・地殻変動や火山活動等によって周囲の山地や長野盆地が形成された
- ・千曲川や犀川などの大河川のほか、市内には多くの中小河川や湧水が残る
- ・自然環境が素地となり、地区ごとに特色ある歴史文化が発展した

## ①大地の記憶～海だった長野～

ストーリー・・・日本で最も標高の高い県庁所在地だが、約 200 万年前までは海底だった。その後の地殻変動により、山地や長野盆地が形成されたが、地下水や温泉、鉱物など自然環境がもたらす地下資源は、長野の歴史文化の素地であり、海底であったことを示す化石や火山活動の痕跡は、大地の生い立ちを示している。

設定地域・・・全域

キーワード・・・「海」「地殻変動」「地質」

構成文化財群・・・奥裾花峡谷（鬼無里）、深谷沢の蜂の巣状風化岩（鬼無里）、大柳及び井上の枕状溶岩（若穂）、戸隠のシンシュウゾウ化石、山穂川のクジラ化石（信州新町）など

## 歴史文化の特徴2 シナノのはじまり

### (要旨)

- ・「シナノ」とは千曲川中流域の更級郡（篠ノ井・川中島・更北・信更・大岡）と埴科郡（松代）を合わせた地域を指すことばだった
- ・「シナノ」のクニは、7世紀後半には「科野」、8世紀からは「信濃」と名前を変え、現在の長野県へとつながっていった

### ②シナノのはじまり

ストーリー・・・

設定地域・・・全域

キーワード・・・「古墳」「副葬品」

構成文化財群・・・川柳將軍塚古墳・姫塚古墳（篠ノ井）、土口將軍塚古墳・大室古墳群・菅間王塚古墳・桑根井空塚（松代）

## 歴史文化の特徴3 古くから息づく信仰

### (要旨)

- ・市内には歴史的な神社仏閣が数多く残る
- ・善光寺御開帳や戸隠神社式年大祭など信仰の営みが続いている
- ・門前を中心に都市が発展してきた

### ③-1 山岳信仰と修験の道

ストーリー・・・長野盆地を取り囲む山々は、古代から信仰の対象とされ、中世には修験者の拠点になっていくものもあった。近世に入ってもますます盛んになっていった山岳信仰は、明治初期の廃仏毀釈の嵐を経ながら現在にも受け継がれている。

設定地域・・・戸隠山、飯綱山、虫倉山、皆神山ほか

キーワード・・・「水神信仰」「山岳信仰」「廃仏毀釈」

構成文化財群・・・中社・宝光社の宿坊群、栗田城跡、栗田区有文書、飯綱神社、皆神社、皆神文書、戸隠古道、山居仏、廃仏毀釈による流出仏像

### ③-2 善光寺信仰の広がり

ストーリー・・・市内には善光寺を中心に、歴史的な社寺仏閣や仏教的な伝統行事が数多く残されている。

設定地域・・・全域

キーワード・・・「善光寺」

構成文化財群・・・善光寺本堂、堂童子行事、善光寺周辺仏教美術資料、大勧進・大本願等周辺社寺、御開帳、祇園祭など

### ③-3 諏訪信仰と御柱

ストーリー・・・市内には御柱祭を行う諏訪神社が多く存在する。なかでも善光寺に所縁のある湯福神社・妻科神社・武井神社・健御名方富命彦神別神社の4社の間で交代で行われる御柱祭や、松代祝神社の御柱祭は町の賑わいを創出する盛大なものである。

キーワード・・・「御柱祭」

構成文化財群・・・武井神社、妻科神社、湯福神社、健御名方富命彦神別神社、祝神社、武井神社御柱祭絵馬、妻科神社御柱祭絵馬、祝神社御柱祭絵巻など

## 歴史文化の特徴4 中世の戦乱と真田家の入封

### (要旨)

- ・長野市域はこれまでも度々戦乱の場となり、多くの武士が活躍した
- ・川中島の戦いを期に海津城が築城され、城下町として発展していった
- ・市内の山地には多くの山城が残されている

### ④-1 合戦と伝承

ストーリー・・・中世、当地域では多くの戦いが繰り広げられてきた。また合戦の拠点となった山城も多く残されている。

キーワード・・・「横田河原の戦い」「大塔合戦」「川中島の戦い」「山城」

構成文化財群・・・松代城、横田城、牧之島城、川中島古戦場の首塚

### ④-2 松代に伝わる武家文化

ストーリー・・・川中島の戦いを機に海津城が築城されて以来、城下町として発展していった松代には当時の武士の営みを伝える建物や文化が残されている。また複合扇状地上に位置する城下町には、湧水や河川を水源とする水路網が受け継がれ、泉水（庭池）から泉水につながる「泉水路」や、周囲の山並みを借景に取り込んだ庭園文化が現存している。

設定地域・・・松代

キーワード・・・「武家屋敷」「泉水路」

構成文化財群・・・松代城、新御殿、旧文武学校、旧横田家住宅、真田信之霊屋、泉水路

## 歴史文化の特徴5 近代化と市街地の拡大

### (要旨)

- ・長野市は県庁所在地として発展し、次第に市域を拡大していった
- ・市内各地で学校が設立され、教育県長野として知られていくきっかけとなった
- ・近世以降現代まで、善光寺を核として観光業が発展してきた。
- ・北信地域の中核都市としてオリンピックの開催地となった。

### ⑤-1 県都の誕生

ストーリー・・・近代以降に県庁所在地となったことを契機として、官公署や長野駅、工場が設置され、鉄道・道路の整備、電気やガス、水道等の近代インフラ整備が進められた。それに伴い、善光寺門前から長野駅にかけて擬洋風の近代建築物が相次いで建てられ、人口や物流の増加、産業の勃興が進んだ。

設定地域・・・全域

キーワード・・・「県庁所在地」「城山公園」

構成文化財群・・・西方寺、旧長野県庁、古地図、近代政治史料、この頃整備された道路、近代建造物、藤屋、扇屋（五明館）

### ⑤-2 信州教育の源流

ストーリー・・・近代以降教育県長野と呼ばれる基には、江戸時代より盛んだった寺子屋教育や嗜みとしての習い事存在があった。

設定地域・・・全域

キーワード・・・「習い事」「藩校」「近代教育」

構成文化財群・・・筆塚、北信流、旧文武学校、旧長野県師範学校教師館、信州大学教育学部書庫、旧作新学校、安茂里小学校赤心館、長野高等学校旧南校舎、日新館、寺島宗伴関係資料

### ⑤-3 観光都市 NAGANO

ストーリー・・・近世以来現在に至るまで、長野市は善光寺を中核として、川中島の古戦場など、地域に残る文化財を観光資源として活用しながら発展してきた。

設定地域・・・全域

キーワード・・・「善光寺御開帳」「ながの祇園祭」「川中島の戦い」「冬季オリンピック」

構成文化財群・・・祇園祭屋台、典厩寺、

## 歴史文化の特徴6 風土に育まれた多様な生活文化

### (要旨)

- ・各地区でその風土や地形を活かしたものづくりが行われ、農村生活と結びつきながら多様な技術が受け継がれてきた。
- ・生活の中で生まれた娯楽や願いが、伝統行事として現在まで受け継がれている。

### ⑥-1 川と共に生きる～千曲川と犀川～

ストーリー・・・2つの大河川が流れ込む長野盆地平野部に暮らす人たちは、河川の氾濫に悩まされながらも、肥沃な扇状地や後背湿地を生かした農作物栽培や河川がもたらす漁労などの恵みを受けて生活を営んできた。

設定地域・・・善光寺平・川中島平（千曲川・犀川流域）

キーワード・・・「水害」「川漁」「用水」「肥沃土」「二毛作」「養蚕」

構成文化財群・・・川漁具（長野市立博物館）、養蚕道具、善光寺地震関係資料、地割慣行、花井吉成の墓、東横田の虫送り、つけば

### ⑥-2 多様な山の恵みと人々の暮らし

ストーリー・・・長野市西部中山間地域では、善光寺町の近郊という地の利を活かした商品作物栽培がさかんだった。近代まで当地域は商品作物の輸出により豊かな地域だった。

設定地域・・・長野市西部中山間地

キーワード・・・「産業」「商品作物」「麻」「山中紙」「祭屋台」「漆」「交流」「食」

構成文化財群・・・鬼無里の祭屋台神楽彫刻、中条の神楽彫刻、麻栽培関係資料、新町の麻釜、漆掻き集団の桶道具、中島紙店資料、西山大豆、オヤキ、エゴ、トウジそば、犬石の虫送り、戸隠の竹細工

### ⑥-3 多様な村祭り

ストーリー・・・

設定地域・・・全域

キーワード・・・「伝統行事」「神楽」「花火」「小正月」「道祖神」

構成文化財群・・・神楽（獅子舞）、犀川神社の杜煙火、瓜割煙火、長谷及び越のドンドヤキ、芦の尻の道祖神祭り、セーノカミの勸進行事（芋井・戸隠）、人形道祖神（若穂・小田切・鬼無里・豊野）、道祖神石碑、小正月関係資料ドンドヤキ、高岡の小豆焼き神事、春彼岸の人形送行事、御柱祭など

## 歴史文化の特徴7 道でつながる文化の結節点

### (要旨)

- ・日本列島の中心に位置し、古来より交通の要所で、人や物、文化の結節点だった
- ・陸の道、川の道によって多くの人や地域とつながっていた
- ・軍事の道、信仰の道、商業の道など様々に利用されていた

### ⑦-1 街道と宿場町

ストーリー・・・近世になって整備された北國街道を軸に、各地をつなぐ道によって多くの物と人が行き交うようになった長野。現在も街道沿いには当時の面影を残す文化財が点在している。

地域設定・・・街道沿い

キーワード・・・「北國街道」「宿場」

構成文化財群・・・丹波島宿柳島家、善光寺宿藤屋本陣、稲積一里塚、丹波島の渡しと宿場、秋葉山の常夜灯当番（長沼大町）、篠ノ井追分、旧信濃中牛馬合資会社、七二会馬頭観音講など

### ⑦-2 千曲川・犀川の通船

ストーリー・・・

地域設定・・・千曲川・犀川沿い

キーワード・・・「通船」

構成文化財群・・・川田宿西澤家、

## 歴史文化の特徴8 災害と自然の恵み

### (要旨)

- ・豊かな自然の一方、地震や水害、火災など様々な災害があった
- ・復興の歴史
- ・災害の痕跡は現在でも残っている

### ⑧-1 災害と人々の祈り

地域設定・・・市内全域

キーワード・・・「地震」「地すべり」「洪水」

構成文化財群・・・善光寺地震関係資料（長野市立博物館）、松代群発地震資料（長野市立博物館）、令和元年東日本台風関係資料（長野市博・長沼・松代）、地附山の地滑り、災害地名、治水碑

### ⑧-2 自然の恵み

地域設定・・・市内全域

キーワード・・・「地下資源」「温泉」「石材」

構成文化財群・・・柴石、村雨石、ムジナ郷路山、浅川油井、小田切天然ガス、茶白山の亜炭、松代温泉